

2011年「世界一重い梨」としてギネス世界記録に認定！ 第23回ジャンボ梨コンテストを開きます 優勝した梨は同日のセリで販売します！



J Aあいち豊田梨部会（部会長：梅村和也）は11月6日（月）、豊田市特産の梨「^{あたご}愛宕」の出荷開始に合わせ、毎年大きな反響を呼んでいる「ジャンボ梨コンテスト」を豊田市公設地方卸売市場で開催します。コンテストは梨の重量を競うもので、例年約3kgのジャンボ梨が多数並びます。また、優勝した梨はコンテスト終了後に同市場で初セリにかけられます。昨年は、2.934kg、胴回り58.9cmの梨が優勝し、1玉45万円で取引されており、今年もご祝儀相場が予想されます。当日の表彰式には豊田市安田明弘副市長と同J A石川尚人代表理事組合長も参加する予定です。

このコンテストは、日ごろ高品質な梨作りを目指している部会員が、愛宕梨の重量を競うことで生産技術の向上を図るとともに、来季に向け一層生産意欲を向上させることを目的に毎年開いています。最近では核家族化が進み、消費者の需要に応じて小ぶりの愛宕梨を中心に生産していますが、部会員はコンテストに向け、より大きな愛宕梨を生産しようとしており、昨年同様に大きな梨の出品が期待されます。

【取材日時】

日時：令和5年11月6日（月）
午前6：00 ジャンボ梨コンテスト
午前6：30 コンテスト表彰式
午前7：00 入賞品のセリ開始

場所：豊田市公設地方卸売市場 青果棟
（豊田市高崎町兼近70）

各賞：愛知県知事賞、豊田市長賞
J Aあいち豊田組合長賞
愛知県果樹振興会長賞 など6点

審査：梨の重量で順位を決めます。
重量が同じ場合は、胴回りのサイズが大きいものを上位の賞とします。



当日はコンテスト受賞者の撮影と取材ができます

<愛宕梨について>

愛宕梨は果肉が柔らかく、甘みと酸味が調和したみずみずしい梨。通常サイズでも約1kgあります。非常に日持ちが良いのが特徴で、贈答品としても人気です。

<令和5年 J Aあいち豊田梨部会 概要>

栽培農家は豊田市猿投地区、上郷地区の42戸。栽培面積は25.3ヘクタール。出荷量は、全品種で400トンの出荷予定。幸水・あきづき・愛宕など8品種を栽培しています。

<お問い合わせ先>

J Aあいち豊田 営農生活部 猿投営農センター選果場 担当：中野（平日 8:30～17:30）
〒470-0373 豊田市四郷町森前南26番地4 電話（0565）46-2217
または、広報課 電話（0565）31-2361 E-mail k.koho@toyota.aichi-ja.or.jp

